

都001	項目名	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金(令和3年度国1次補正)	
予算書項目	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金	ページ	41
年度	R3	所 属 名 都市整備部 都市企画課	
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	河川費		
目	河川総務費		
(単位:千円)			
補正前額	0		
要求額	14,500		
総務部長段階査定額	14,500	その他財源の内訳	
市長段階査定額	14,500	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	14,400	
	その他	0	
	一般財源	100	
	計	14,500	
行財政改革課処理欄			

**事業の概要**

【問合せ先】 事業調整係 0857-30-8322

【11次総の施策体系】 2401

【事業の経過及び背景】  
県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に要する経費については、地方財政法及び県議会議決において市の負担額が定められている。

【事業の目的及び効果】  
災害に強いまちづくりを進めるため、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に要する経費の一部を市が負担することにより、急傾斜地対策事業の促進を図る。  
国の補正予算に呼応して、財源の確保を図る。

【事業の内容】  
梶掛地区など14件

都002	項目名	生活交通確保対策推進事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	27
年度	R3	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
会計名	一般会計		
款	総務費		
項	総務管理費		
目	交通対策費		
(単位:千円)			
補正前額	0		
要求額	6,382		
総務部長段階査定額	5,902	その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,902	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	2,951	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,951	
	計	5,902	
行財政改革課処理欄			

**事業の概要**

【問合せ先】 交通政策課 0857-30-8326

【11次総の施策体系】 2404

【事業の経過及び背景】  
本市の公共交通の一翼を担うタクシー事業は、新型コロナウイルスの影響を受け、経営が危機的な状況に陥っている。加えて、ドライバーの高齢化、人材不足が深刻化しており、事業存続ができない状況になりつつある。  
一方で、高齢化が進展する中で生活交通におけるタクシーの役割は、これまで以上に高まっており、事業存続に資する取組が求められている。

【事業の目的及び効果】  
タクシー事業の経営改善や新たなサービス提供に取り組むタクシー事業者を支援し、本市の持続可能な生活交通の確保を図る。

【事業の内容】  
令和3年3月末でタクシー営業所が廃止となった気高町、鹿野町において、AI技術を活用した配車システムによる定額制乗合タクシーのサービス開始に向け、実証運行に取り組むタクシー事業者に対して必要経費を支援する。

<定額制タクシー実証運行の概要>

- 運行主体：市内タクシー事業者
- 運行区域：気高町、鹿野町
- 実施期間：令和4年10月～令和5年3月(予定)
- 運行時間：9時～16時(予定)
- 運賃：月額4千円
- 市補助金：5,902千円

都003	項目名	タクシー事業継続緊急支援事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)		
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	27	所属名
年度	R3	都市整備部 交通政策課		
会計名				
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	交通対策費			
(単位：千円)				
補正前額	0			
要求額	12,350			
総務部長段階査定額	12,350	その他財源の内訳		
市長段階査定額	12,350	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	補正額			
財源内訳	国・県支出金	6,175		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	6,175		
	計	12,350		
行財政改革課処理欄				
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326 【11次総の施策体系】2404 【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、路線バスやタクシーの利用は大幅に減少し、経営は危機的な状況に陥っている。地域公共交通の維持確保に向けて、事業継続に資する支援が求められている。 【事業の目的及び効果】 利用が減少している中で、感染防止対策を講じながら地域公共交通の維持・確保を図っているタクシー事業者を支援し、タクシー事業の存続を図る。 【事業の内容】 新型コロナウイルス感染症の影響により営業収入が減少した市内タクシー事業者に対し、事業継続のための緊急支援金を交付する。 ○補助対象者 市内に事業所を有するタクシー事業者 ○補助金額 タクシー車両1台につき50千円(登録台数：247台)				

都004	項目名	公共交通キャッシュレス化推進事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)		
予算書項目	公共交通利用促進事業費	ページ	27	所属名
年度	R3	都市整備部 交通政策課		
会計名				
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	交通対策費			
(単位：千円)				
補正前額	0			
要求額	53,000			
総務部長段階査定額	53,000	その他財源の内訳		
市長段階査定額	53,000	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	補正額			
財源内訳	国・県支出金	26,500		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	26,500		
	計	53,000		
行財政改革課処理欄				
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326 【11次総の施策体系】2404 【事業の経過及び背景】 利用の減少が続く公共交通は、事業継続に向けて利用回復による収益改善が課題となっている。利用回復のためには、利便性を向上させることが重要であり、特にコロナ後を見据えて地域外からの来訪者の利用増加につなげる対策が求められている。 【事業の目的及び効果】 鉄道、路線バス、タクシーなどの公共交通のキャッシュレス化を推進することで、シームレスで使いやすい地域公共交通ネットワークを構築し、公共交通の利用回復、増加を図る。 【事業の内容】 100円循環バス「くる梨」に、全国相互利用可能な交通系ICカードが利用できる環境整備を行う。合わせて、鳥取バスターミナルでJR西日本がサービス提供する「ICOCA」の販売環境を整備する。 ・ICOCAサービスシステム構築費：23,100千円 ・車内整備費(車両8台改修費、IC機器設置費)：22,900千円 ・運用端末機設置費：7,000千円				

都005	項目名	通行量・滞留時間調査デジタル化推進事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	中小企業・商業活性化対策事業費	ページ	37
年度	R3	所 属 名 都市整備部 中心市街地整備課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	17,465		
総務部長段階査定額	17,465	その他財源の内訳	
市長段階査定額	17,465	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	8,732	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	8,733	
	計	17,465	
行財政改革課処理欄			

**事業の概要**

【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331

【1次総の施策体系】 2402

【事業の経過及び背景】  
本市では、魅力と賑わいの溢れる中心市街地を実現するための基礎資料として、来街者数やその移動傾向を把握してきているが、その手法として、令和3年度までは数取り機での入力による計測を行ってきた。この調査手法について、新たにAIカメラによるデジタル手法計測を導入する。  
また、第3期中心市街地活性化基本計画や鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）において、滞留性・滞在性の向上をキーワードに賑わい創出を図ることとしている。次期計画では新たに「滞留時間」を指標に設定する予定であり、ウィズコロナ、アフターコロナの考え方を踏まえた賑わい創出施策を実行する。

【事業の目的及び効果】  
中心市街地への来街者数及びその移動傾向を把握し、中心市街地活性化にデータ活用することを目的として、令和3年度まで入力による調査を行ってきた。デジタル手法による調査に移行することで、全体費用の抑制になるほか、調査日の天候やイベント有無を統一することでデータ信頼度が向上し、官民が行う各種施策・振興策に活用することが可能となる。  
さらに、ウィズコロナ下では感染状況に応じイベント等での人数抑制がされるなど、賑わい・滞留の在り方を考えて社会経済活動を再開させる必要がある。そこで新たに市民、観光客などの滞留時間等を調査し、属性、行動等を分析することで、ウィズコロナにおける賑わい創出の在り方を検証しながら、官民が行う今後の中心市街地活性化施策に活用する。

【事業の内容】  
(1) AI画像認識による通行量調査業務  
(2) 滞留時間調査業務

都006	項目名	鳥取駅周辺空間デジタル環境向上事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費	ページ	43
年度	R3	所 属 名 都市整備部 中心市街地整備課	
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	都市計画費		
目	都市計画総務費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	3,943		
総務部長段階査定額	3,943	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,943	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	1,971	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,972	
	計	3,943	
行財政改革課処理欄			

**事業の概要**

【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331

【1次総の施策体系】 2402

【事業の経過及び背景】  
新型コロナウイルス感染症の影響により各分野で新たな生活様式への変容が進んでいる。その一つとして、ウィズコロナ下での社会経済活動において全国各地でテレワーク、ワーケーションが推進される中、本市においても多くの商業・居住機能等が集積する中心市街地を舞台の一つとしてテレワークが推進されつつある。これまでも山陰東部圏域の核である鳥取駅周辺の環境整備に取り組んできたところであるが、デジタルコンテンツ利用環境向上のため、新たに鳥取駅周辺での公衆無線LAN環境を整備する。

【事業の目的及び効果】  
鳥取駅周辺に誰もが利用できる公衆無線LAN環境を整備し、来街者がデジタルコンテンツを利用できる環境を整えることで、テレワークやワーケーション事業等の都市と地域の両方で働く・楽しむライフスタイルの開拓支援を行う。  
また、屋外空間に公衆無線LAN環境を整備することで、公共交通機関である鳥取駅周辺を利用する市民、観光客等へ、3密対策を実施したより快適な空間を提供することが期待されるほか、情報発信ツールとしてSNS等のデジタルコンテンツを利用することで、来街者を鳥取市各地へ回遊させ、ウィズコロナの賑わい創出を図ることができる。

【事業の内容】  
鳥取駅周辺空間公衆無線LAN環境整備  
(1) Wi-Fi環境整備  
(2) Wi-Fi環境の維持管理

都007	項目名	治水対策事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)
------	-----	---------------------------

予算書項目	治水対策事業費	ページ	41
-------	---------	-----	----

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

年度	R3
----	----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	河川費
目	河川総務費

(単位：千円)

補正前額	0
------	---

要求額	15,000
-----	--------

総務部長段階査定額	15,000
-----------	--------

市長段階査定額	15,000
---------	--------

区分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	7,500
地方債	0
その他	0
一般財源	7,500
計	15,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

行財政改革課処理欄

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】河川係 0857-30-8343</p> <p>【11次総の施策体系】2401</p> <p>【事業の経過及び背景】 樋門、ポンプ場の操作について、操作員等が現地確認を行い実施しており、警戒配備時には長時間拘束されることもあるため、デジタル技術などを活用して操作等の省力化、効率化を推進し、操作員等の人材確保に努める必要がある。</p> <p>【事業の目的及び効果】 コロナ克服・新時代開拓臨時交付金を活用し、樋門、ポンプ場周辺の状況や河川水位の情報をリアルタイムで把握できる遠隔監視システムを整備することにより、操作員の現地確認に要する作業の効率化を実現するとともに接触機会を軽減させることで新型コロナウイルス感染拡大防止を図る。</p> <p>【事業の内容】 小沢見樋門など5施設において、遠隔監視システムを整備する。</p>
--

都008	項目名	公園衛生環境対策事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)
------	-----	-------------------------------

予算書項目	公園整備費	ページ	43
-------	-------	-----	----

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

年度	R3
----	----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	都市計画費
目	都市公園整備費

(単位：千円)

補正前額	0
------	---

要求額	3,000
-----	-------

総務部長段階査定額	3,000
-----------	-------

市長段階査定額	3,000
---------	-------

区分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	1,500
地方債	0
その他	0
一般財源	1,500
計	3,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

行財政改革課処理欄

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】公園係 0857-30-8344</p> <p>【11次総の施策体系】2401</p> <p>【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市民の非接触ニーズが高まる中、不特定多数の人が利用する公園施設の感染防止対策は極めて重要であり、利用者が安心して利用できる衛生環境の改善を図る必要がある。</p> <p>【事業の目的及び効果】 コロナ克服・新時代開拓臨時交付金を活用し、多くの方に利用されている公園内の既設トイレの手洗い場を自動水洗化することで感染リスクの軽減を図る。</p> <p>【事業の内容】 ニュータウン中央公園など11公園において、既設トイレ手洗い場の自動水洗化を行う。</p>
---

都009	項目名	公園整備事業費(令和3年度国1次補正)	
予算書項目	公園整備費	ページ	43
年度	R3	所 属 名 都市整備部 都市環境課	
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	都市計画費		
目	都市公園整備費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	31,400		
総務部長段階査定額	31,400	その他財源の内訳	
市長段階査定額	31,400	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	15,000	
	地方債	16,300	
	その他	0	
	一般財源	100	
	計	31,400	
行財政改革課処理欄			

**事業の概要**

【問合せ先】 公園係 0857-30-8344

【11次総の施策体系】 2401

【事業の経過及び背景】  
社会資本整備総合交付金（国1次補正）を活用し、老朽化している公園施設の更新を推進する。

【事業の目的及び効果】  
都市公園における老朽化した公園施設の更新を行い、安全・安心して利用できる施設環境を確保する。

【事業の内容】  
鳥取市公園施設長寿命化計画に基づき、禰谷公園、湖山池公園の老朽化している公園施設について更新を行う。

都010	項目名	除雪費	
予算書項目	除雪関係費	ページ	41
年度	R3	所 属 名 都市整備部 道路課	
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	道路橋梁費		
目	道路維持費		
(単位：千円)			
補正前額	297,110		
要求額	419,408		
総務部長段階査定額	419,408	その他財源の内訳	
市長段階査定額	419,408	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	3,882	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	415,526	
	計	419,408	
行財政改革課処理欄			

**事業の概要**

【問合せ先】 管理係 0857-30-8351

【11次総の施策体系】 2401、3101

【事業の経過及び背景】  
冬季の生活路線の円滑な交通を確保する。

【事業の目的及び効果】  
幹線、バス路線を主とした市道の除雪を行い円滑な交通を確保する。

【事業の内容】  
令和3年12月の大雪による対応及び今後もラニーニャ現象の影響により例年以上の積雪が予想されるため増額補正するもの。  
車道・歩道除雪作業（直営及び委託）、凍結防止剤散布業務（委託）、その他除雪に必要な資材の購入等。

(実績)

平成27年度	92,359千円	(工事関連外実績)
平成28年度	420,229千円	( " )
平成29年度	281,655千円	( " )
平成30年度	163,432千円	( " )
令和元年度	168,347千円	( " )
令和2年度	475,222千円	( " )

都O11	項目名	防災・安全交付金事業費(令和3年度国1次補正)
------	-----	-------------------------

予算書項目	地方道路整備交付金事業費	ページ	41
-------	--------------	-----	----

所属名	都市整備部 道路課
-----	--------------

年度	R3
----	----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	道路橋梁費
目	道路新設改良費

(単位：千円)

補正前額	0
------	---

要求額	49,364
-----	--------

総務部長段階査定額	49,364
-----------	--------

市長段階査定額	49,364
---------	--------

区分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	25,575
地方債	23,700
その他	0
一般財源	89
計	49,364

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

<b>事業の概要</b>	
【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-30-8351	
【11次総の施策体系】2401	
【事業の経過及び背景】 防災・安全交付金(国1次補正)を活用し市道整備を推進する。	
【事業の目的及び効果】 安全で安心できる生活空間の整備のため、危険箇所の防災対策などを実施するとともに、通学路などの歩道を重点的に整備することにより、道路上の安全と安心を確保する。	
【事業の内容】 防災・安全交付金事業(道路局)(交付率55%) ・湖山町北11号線の測量設計費 ・段床橋など9橋の修繕に係る測量設計費 ・桜土手通り及び湖山幹線のカラー舗装	

行財政改革課処理欄
-----------